

西海橋公園 “魅力UP” 事業サウンディング型市場調査 実施結果（概要版）

位置図



平面図



令和 7 年 5 月
長崎県土木部都市政策課

西海橋公園“魅力UP”事業 サウンディング型市場調査

西海橋公園の現状・課題

- インバウンドの利用が増えている一方で、花見広場や飲食施設等の公園施設の老朽化や、公園施設によっては時代の変化や多様化するニーズに対して十分にポテンシャルを活かしきれていないことにより、利用率が低い。
- 利用者数はコロナ禍以前の利用者数まで回復しておらず、賑わいが減少。
- 西海橋公園全体で公園施設のあり方を考え直す必要があるが、公園施設のリニューアルにあたっては、現状の予算規模のみでの対応は難しい。

長崎県がやりたいこと

PFI事業等の官民連携手法の導入により、西海橋公園に人を呼び込み、賑わいを創出。

- ・「ガーデンツーリズム」を実現・推進するための庭園の整備
- ・西海橋公園のポテンシャルを高める公園施設(ニューアクティビティや便益施設等)の整備

事業者に求めたいこと

賑わい創出のための施設整備や周辺施設との連携等による、西海橋公園の新たな価値の創出。

- ・地元名物や食材を提供する飲食施設(カフェレストラン等)などの便益施設の整備
- ・インバウンドの呼び込み対策と新しいニーズへの対応
- ・リニューアルした公園施設の魅力を最大限に引き出し、季節や時間帯等にとらわれず、西海橋公園を楽しめるしくみづくり
- ・周辺施設との連携による地域活性化

目指す将来像

○西海橋公園における公園施設のリニューアル及び「ガーデンツーリズム」としての拠点整備により、集客力が向上した西海橋公園が、県北地域における周遊観光の推進等の観光振興に寄与。

スケジュール(予定)

R7 事業化検討(可能性調査)、R8 公募、R9 設計・整備、R10 供用開始

1 参加者

現地説明会 (令和7年4月11日・25日)	参加者数 15 者 (非公表を希望する1者を除く)(順不同) ・内田工業株式会社 ・一般社団法人長崎県造園建設業協会 ・ハウステンボス・技術センター株式会社 ・株式会社円伸製作所 ・復建調査設計株式会社 ・株式会社ジャクエツ ・株式会社オオバ ・タカオ株式会社 ・大和リース株式会社長崎支店 ・株式会社タナカ総合環境設計 ・株式会社アート・エンジニアリング ・一般社団法人長崎県公園緑地協会 ・株式会社クリーン工房 ・株式会社ヨシダ
個別対話(調査票提出) (令和7年5月8日・9日) 事業への参加意欲や整備内容の 提案を調査票にて提出	参加者数 6 者(うち調査票の提出のみ1者) (順不同) ・WHILL株式会社 ・ハウステンボス・技術センター株式会社 ・株式会社ジャクエツ ・大和リース株式会社長崎支店 ・株式会社クリーン工房 ・(調査票のみ)内田工業株式会社

2 個別対話の結果概要（承諾を得た内容に限り公表します）

. 本事業への参画について

（１）本事業への参画意向

- ・全ての事業者が「条件があれば参画したい」との意見

（２）本事業への参画形態・関わり方

- ・代表企業や構成企業として参画したい 4 者
- ・連携先や協力先として参画したい 2 者

. 施設整備及び管理運営について

（１）公園施設の整備手法についての意見・提案

- ・Park-PFI等の官民連携手法と指定管理者制度の組合せが望ましいとの意見が多数
- ・県の負担で整備する施設については、しっかりとした対応を要望
- ・利用者ニーズに応じた段階的な整備
- ・クラウドファンディングや寄付を活用した整備
など

（２）整備する施設についての提案

- ・公園内移動手段（モビリティ）の導入
- ・アドベンチャー性のあるアトラクション、体験型施設、レストラン、カフェ、グランピング施設などの導入
- ・既存施設の再整備（ニーズに即したアップデート、拡張、機能転換）
- ・多くの集客を見込めるキラーコンテンツの整備
- ・県北地域の観光資源と連携した広域観光への取組み
など

・施設整備及び管理運営について

（３）持続可能な管理・運営計画についての提案

- ・施設管理の効率化（ICT活用）
- ・周辺施設との共同プロモーション、ホームページの作成やＳＮＳの活用、写真撮影ポイントのPR
- ・地元農産物や工芸品の販売、ワークショップ、体験プログラム、定期的なイベントの実施による収入源の確保
- ・“道の駅”のような運営
など

（４）民間収益事業についての提案

- ・公園内移動手段（モビリティ）の導入
- ・地元特産物の物販、景観を活かしたアクティビティ
- ・地元住民やNPOとの共同管理（雇用創出）
- ・周辺施設と連携したコンテンツ造成、情報発信
など

（５）過去の実績について

- ・指定管理者、官民連携事業＋指定管理者制度、大型観光施設の開発・運営、遊具の導入
など

（６）事業スキームについての提案

- ・Park-PFI等の官民連携手法を柔軟に導入した設計・整備・運営の一体型スキームについての提案が多数

（７）事業スケジュールについての意見・提案

- ・県の想定スケジュールでの事業実施が可能との意見あり
- ・設計：６か月、建設：１年、運営期間：１０～１５年のスケジュール提案（投資内容による）

・施設整備及び管理運営について

（８）地域との対話についての提案

- ・計画段階から意見交換会やワークショップ等を開催し、地域の意見を反映した整備・運営を実施
- ・地域コーディネーター等の中立的立場の進行役の導入
- ・地元自治体、農業団体、観光協会等との定例連絡会議の設置
- ・小中学校との交流企画の実施
- ・民間人材（デザイナー、ツアーガイド、農園管理者等）との連携など

（９）その他、県に対しての意見・要望など

- ・交通アクセスの強化
- ・広域プロモーション支援
- ・民間事業者へのインセンティブ制度（補助金、税制優遇等）
- ・官民の柔軟な対話の場の継続的な設置
- ・インバウンド対応に向けた国際的なプロモーション強化
- ・県による大規模な設備投資を要望など